



ひらいたら ひらいてみよう オープンアトリエ報告展

はたらく、くらす、続いていく日々のなかで、自由に参加し交流できる時間や場が地域にあったら、毎日をもっと楽しくもっと豊かになるのではないのでしょうか。「表現活動をとおして一人ひとりの違いを認め合うことができる時間」、「誰かと出会い、一緒にアートを楽しむ地域に開かれた場」。障害のある人もない人も参加した4つの〈オープンアトリエ〉の活動のプロセスとうまれてきた作品を紹介します。

会期 2016.2.16 (火) — 2.21 (日)

10:00 — 18:00 ※最終日は15:00まで

会場 **アートスペース上三条** 入場無料

奈良市上三条町4 Tel: 0742-23-0114

会場
アクセス

近鉄奈良駅
徒歩5分。
岡三証券の
すぐ南側路地入る。



関連プログラム 1

オープンアトリエ「印象のまなざし vol.3 空間を奏でる」

2.16 (火) 14:00 — 16:00

展示会場として作品を自由に鑑賞することから始めます。そこから湧いてきた言葉を一人ひとり聞き合い、楽器を使ってメロディをつけます。できる曲は展示会のテーマソング。歌って音を鳴らして全身をつかっての体験プログラムです。
(定員10名、要申込)

関連プログラム 2

レクチャー「ろう学校での創作活動」

2.20 (土) 10:30 — 12:00

講師：浅田香苗 (大阪府立生野聴覚支援学校美術教員)
聴覚に障害のある人にとって表現活動はどういう意味があるのでしょうか。また鑑賞活動とは？ろう学校で行われている美術の実践から、表現と鑑賞、芸術を楽しむという視点について考えます。(定員30名、要申込、手話通訳付)

主催：一般財団法人たんぼの家 (※関連プログラムのお問い合わせ、お申し込みは下記連絡先までお願いします。)

〒630-8044 奈良市六条西3-25-4 Tel: 0742-43-7055 Fax: 0742-49-5501 E-mail: artsoudan@popo.or.jp <http://artsoudan.tanpoponoye.org/>

協力：社会福祉法人いこま福祉会、NPO法人どろんこ畑、社会福祉法人総合施設 美吉野園、社会福祉法人わたぼうしの会

※平成27年度厚生労働省障害者の芸術活動支援モデル事業

たんぼぼの家では障害のある人の社会参加やいきがい・仕事づくりとして、アート活動の支援にとりこんでいます。2014年度に「障害とアートの相談室」を開設し、みなさんからの相談を受けるなかで多かったのが、学校卒業後のアート活動ができる場への希望です。

「養護学校のときには美術の活動をしていたんだけど、卒業後にできる場がない」、「作品を発表できる機会を教えてください」。今回4つの〈オープンアトリエ〉のプログラムを実施しながら、地域のなかに開かれた表現や鑑賞の場をつくることができるかを考えました。ぜひ、来場いただくみなさんとも、〈オープンアトリエ〉の可能性について一緒に考えたいと思います。

障害のある人もない人も参加した4つの〈オープンアトリエ〉の活動のプロセスとうまれてきた作品を紹介します。

① オープンアトリエ「mirumiru (ミルミル)」

いつ 土曜日の午後2時から4時
どこで 香芝市の総合福祉センターで

障害のある高校生以上の人に参加し、絵画を中心とした創作活動を連続4回で行いました。また、一人ひとりの可能性をのばす造形活動の支援について、アートサポーターの参加をよびかけ、共に模索しながら取り組みました。



講師：岡崎潤
デザイナー・造形教室主宰



ここなら安心して自由に表現ができる、個性を認め合える仲間がいる、そう思える場をつくるため、連続講座として関係づくりを大切にしました。活動は、参加者の主体性を重視しながら、サポーターと共に個別の展開を検討。また、毎回お茶を飲みながら作品を発表し合う〈サロン〉を開き、交流を楽しみました。

② オープンアトリエ「わくわくポン！」

いつ 平日の午後4時から5時半
どこで 生駒市のカフェで

障害のある人もない人も、こどもも歓迎で参加を募り、身近な素材を使った創作活動を行いました。パラシュートやボンボン人形、時には道具もつくってみたり。1回だけの参加でも楽しめる場を、町のカフェでひらきました。



講師：竹田悠佳
たんぼぼの家
アートスクール Pocket 運営



1つ1つの作業行程を分かりやすくし、楽しさが感じられる工夫や素材を準備しました。つくる過程やコミュニケーションを大事にしたことで、手もよく動き、笑顔や会話が生まれました。各回、それぞれに表情の違った時間を感じることができました。

③ オープンアトリエ「印象のまなざし」

いつ 施設がつかえる休日や平日
どこで 奈良市の福祉施設とギャラリーで

視覚に障害のある人ない人が参加し、創作体験を通して「まなざし」(=頭のなかのイメージ)、「みえ方」「感じ方」の違いを楽しむプログラムを開催。視覚に障害のある人への創作活動の支援にも取り組みました。



講師：吉永朋希
たんぼぼの家アートセンターHANA
アートディレクター



大切にしたいことは「また創作がしたい!」と思える時間にする。そのために画材と技法を親しみやすいものにしました。日用品を使ったコラージュ、クレヨンの削り絵、扱う素材は100円ショップやデパートで買えるものです。手軽さをだすことで、純粋な創作の楽しさに熟中してもらえました。

④ オープンアトリエ「ふれあう大地のおすそわけ！」

いつ 土曜日のお昼・日曜日の午後
どこで 奈良県吉野郡の畑とカフェで

障害のある人もない人も、町の人も町を訪ねた人も、季節を楽しみながら一緒に過ごす空間をつくるプログラム。ダンスをしたり、地場産の野菜や綿といった、地域から生まれた素材を用いて五感を豊かにしながら楽しみました。



企画者：岡部太郎
一般財団法人たんぼぼの家
事務局長



カフェの隣りにあるビニールハウスや野菜。地域の、今そこにあるものをいかした企画で、ダンサーの佐久間新さんを講師に迎えました。絵画・造形だけでなく、身体表現や料理、食べることも大きくは自己表現。日常の中にも輝く瞬間があることを共有できたと思います。